

# 米国の看護教育プログラム

## — シアトル大学看護学部の場合 —

田中芳文・恒松徳五郎

### Programs of Nursing Education in the United States of America : School of Nursing, Seattle University

Yoshifumi TANAKA and Tokugoro TSUNEMATSU

#### 概 要

シアトル大学看護学部（米国ワシントン州）の理念，目的，目標などについて記述し，同大学のコア・カリキュラム，看護学部の2つのコース内容について概観し，今後の本学の教育課程編成の参考とした。

キーワード：シアトル大学看護学部，教育課程，コア・カリキュラム，看護学士コース，登録ナースのための看護学士コース

#### I. はじめに

1997年7月から8月にかけて，米国ワシントン州のシアトル大学看護学部において，本学の学生24名と教員3名が語学・看護学海外研修を行った。本稿では，同学部の教育課程を調査した結果を報告して，本学の今後の教育課程編成の参考としたい。



シアトル大学看護学部 (Garrand Building)

#### II. シアトル大学看護学部

シアトル大学は，1891年に創立された学生数6,091名（学部学生3,420名，大学院生2,671名）の大学で，1940年に設置された看護学部の学部学生は271名，大学院生は18名である（1994年現在）。また同学部の教員スタッフは17名（教授3名，準教授4名，助教授8名，講師2名）である（1996年現在）。

##### 1. 看護学部の理念

看護学部の教員は，次の6項目を共通に認識している。

- 1) 人間は，それぞれ生まれながらに備わった尊厳性と尊い価値を有しており，学習したり愛情を表現することのできる生物学的，感情的，社会的，知的，精神的存在である。人間が独自性を持つということは，すなわち，個

人は個人を作り上げている各部分の単なる総計ではなく、それ以上のものであるということである。そして、人間は、遺伝、文化遺産、環境に影響を受け、また、自分の行動に関して選択と意思決定をする自由がある。

- 2) 環境は、神からの贈り物であるということだけでなく、「善なるもの」であり、「美しいもの」として大切にされなければならない。環境は、物質的世界と個人や家族や地域社会という人間社会から成立するものである。環境は、この物質的世界と人間社会との間の相互作用の結果によって絶えず変化している。
- 3) 健康は、最高の健康状態から最悪の病気の状態まで変化するダイナミックな過程である。健康状態は、人間の持つ体内の予備力、外界からの要求、環境に存在する健康資源などに影響を受ける。良い健康状態とは、心、身体、魂が効率よく機能して、人間が全体として統合性を保っている状態である。病気とは、幸福感が減少した状態、あるいは人間の中の心、身体、魂のうちのある面が機能障害を起こしている状態である。人間は、ある一面において機能異常を起こし得るが、それでも効率よく機能することができる。看護ケアを受ける人々は、健康であったり、病気であることもあり、また、人生のあらゆる発達段階の人々である。
- 4) 専門職としての看護婦(士)は、人々が良い健康状態を得たり、維持したり、回復するために最も高い状態に到達すること、病気に対処すること、人間としての尊厳性を保って死を迎えること、を援助するものである。また、看護婦(士)は、看護過程の適用、自分自身が持つ治療方法の使用、臨床的判断、専門的技術を通して人々が潜在的に高い状態に到達する手助けをするものである。さらに看護婦(士)は、組織化されていようが組織化されていまいが、様々な環境の下での多文化を持つ地域社会において、個人、家族、グループの看護を行うものである。
- 5) 専門職としての看護実践は、一般教養科目、

自然科学、看護学から得られた理論的で経験的な知識、にその基盤を置く。看護実践は、ますます看護学研究から得られた知見を抛り所とし、また法律的、倫理的、社会的指針に影響を受けている。

専門職としての看護実践は、互いに関連した多くの部分から成り、また、ケアする側とケアを受ける側とは相互に影響しあうので、ケアをする側は、洗練された自己認識と他人との相違点を受け入れる能力を必要とする。看護実践は、個人の自主的な意思決定能力とヘルスケアチームの他のメンバーとの協力を重視し、リーダーシップを発揮する能力と変化を生み出す能力が求められる。

ケアをするということは、専門職としての看護の本質的な領域であり、それは個人に対する純粋な思いやりと尊敬の表現である。人間の魂のケアは、生理的、及び感情的な欲求があるとき、または専門的技術を必要とするときに、それを満足させるのと同じくらい専門職としての看護においては重要なことである。

イエズス会の伝統と一致して、専門職としての看護は、卓越した看護に専心し、知識、技術、道徳的誠実さを持ち、他人の感情、意見に心を配って人々に奉仕するものである。専門職としての看護は、ヘルスケアを提供する際に起こり得る今日的諸問題を解決しながら、全ての人のために社会的公平さを広く押し進めることに捧げられるものである。

- 6) 人は、その人を取り巻く環境の諸々の事物との相互作用の結果として行動を起こしており、学習とはそのような行動を絶えず新しく変化させることである。学習の過程には、専門的な発達にとって必要な知識、価値観、技術の統合と応用だけでなく、人間としての自己の発見と成長が含まれている。

看護学部の教員は、イエズス会の伝統を引く教育者として、価値観を深く考察する知的好奇心や自由を育てる学習環境を作り出すことに専心する。教員は、学習者の持つ独特な

資質に対して鋭敏になり, 模範となり, 教育資源を提供することによって学習を促進する。学生のも最終目標は, 一生涯にわたって, 知的, 及び人間的成長を自ら指向させることであり, この目標は, この地球社会での自分, 及び他の人々の身体, 感情, そして魂の健全性を高めることによって達成されるのである。

## 2. 看護学部のも目的

看護学部のも目的は, 専門職業務に携わろうとする者に教育的準備を提供することで, 看護の教育課程 (プログラム) には次の4つの目的がある。

- 1) 看護専門職として必須の知識, 技術, 及び価値観を発展させるために教育的経験を積ませる。
- 2) 学生が, 人としてさらに専門職者として潜在的に保有する能力を自覚させる機会を与える。
- 3) 他人への奉仕というイエズス会の伝統に従い, 学生に社会の健康ニーズに応える準備をさせる。
- 4) 看護の卒後教育のための基礎を提供する。

## 3. 看護学部のも教育課程のも目標 (卒業生のも特徴)

看護学部のも教育課程のも具体的な目標として次の7つの項目があり, それは換言すれば, 卒業生のも特徴でもある。

- 1) 教養科目, 人文科学, 自然科学, 看護専門科目から学び得た理論的・経験的知識を専門職としての看護実践のために統合できる。
- 2) 賢明で迅速な臨床的判断, 良好な対人関係を築くことができる能力, 習熟した専門的技術を持って, 全人間的な視点から看護過程を使用できる。
- 3) 様々な健康状態にある広範囲のクライアント (個人, 家族, グループ, 地域社会) に対して, 個別の看護ケアを提供できる。
- 4) 専門職としての看護実践にとって必要不可欠な根本方針・信念を示すことができる。

- 5) 保健・医療の質を高め看護職の発達を促す活動をサポートできる。
- 6) 保健・医療に携わる各部門間の調整を行い, その中でリーダーシップと管理能力を示すことができる。
- 7) 自分の人間的な側面と専門的側面において成し得た進歩を自己評価し, 将来の発展についても計画することができる。



The School of Nursing Pin

## 4. 授与する学位

看護学士 (Bachelor of Science in Nursing)

## 5. 大学院の学位 (Graduate Degree)

看護学修士 (Master of Science in Nursing)

## 6. 認可 (Accreditation)

米国看護連盟 (National League for Nursing)

ワシントン州看護局 (Washington State Board for Nursing)

## 7. 学習課程 (Programs of Study)

看護学部は, 看護教育をはじめて受ける学生 (basic students) のためと, 看護学士の取得を求める登録ナース (registered nurse) である学生のための, 2種類の学部学生用プログラム (undergraduate program) を提供する (以下, 前者を看護学士コース, 後者を登録ナースのための看護学士コース, とする)。

## 8. 入学資格

高等学校, または認可教育機関卒業者で, 看護学士の資格要件を満たしたいと希望する者は, この大学の入学資格を備えていなければならない。他の単科大学や総合大学から看護学部へ編入を希望する学生には, ある基準以上の成績が求められる。また, 登録ナースのための看護学士コース入学に求められる条件としては, 1) 米国看護連盟により認可された看護学校を卒業していること, 2) 現在有効なワシントン州の看護婦(士) 免許を所有していること, 3) 看護婦(士) 養成プログラムの長または雇用主からの推薦があること, がある。

## 9. プログラムの必修要件

各看護専門科目における理論, 及び臨床の成績が, 各学期 (quarter) の終わりに進級を決定するために評価される。

評価基準は次の通りである。

成績評価	成績評価点	得点
A	4.0	93点以上
A-	3.7	90-92
B+	3.3	87-89
B	3.0	83-86
B-	2.7	80-82
C+	2.3	77-79
C	2.0	73-76
C-	1.7	70-72
D+	1.3	67-69
D	1.0	63-66
D-	0.7	60-62
E	.0	59点以下

ただし, 看護系の科目の合格の最低基準はCであり, これに達しない場合はすべてEの評価となる。このEの成績評価点 (grade point) は0であり, これは成績評価点平均 (grade point average) を算出する場合にも非常に不利になる。

また, 学生は, 身体検査, 心肺蘇生術 (CPR) 講習証明書, 免疫予防, 医療保険適用範囲などについての看護学部・臨床部局の必要条件, 及

びその他のワシントン州や合衆国の求める必要条件を満たさなければならない。学生は, これらに必要な費用やユニフォームや器具にかかる費用, 教育施設への往復にかかる費用などを負担しなければならない。

さらに, 臨床実習期間における専門職責任保険 (liability insurance) に加入することが, 看護学士コースの学生には勧められ, 登録ナースのための看護学士コースの学生は加入することが必要である。

## 10. 臨床実習施設

Bessie Burton Sullivan Skilled Nursing Residence

Children's Hospital and Medical Center

C.P.C. Fairfax

Evergreen Hospital Medical Center

Group Health Cooperative Hospital and Clinics

Harborview Medical Center

Highline Treatment Center

Mt. St. Vincent's Hospital

Northwest Hospital

Overlake Medical Center

Pacific Medical Center

Pike Market Medical Clinic

Providence Medical Center

Seattle King County Health Department

Seattle Public Schools

Swedish Hospital Medical Center

Valley Medical Center

Veterans Administration Medical Center

Virginia Mason Hospital

Yesler Terrace

その他

## III. コア・カリキュラム

### 1. コア・カリキュラムの目的

シアトル大学の学生は, コア・カリキュラムと呼ばれる教養科目の基礎プログラムを履修す

る。このカリキュラムが、シアトル大学の全学生を、イエズス会の伝統ある人格教育に重きを置く高等普通教育へ導く。このカリキュラムは、より統合された学習方法を求める学生や教師の要望に応じて、100人以上の学部スタッフの4年間にわたる討議から生まれたものである。このコア・カリキュラムには次の3つの目的がある。

- 1) 奉仕という人生のための全人格を発展させる。
- 2) 人生を通じてどんな専門や職業においても探求したり学習できる基盤を提供する。
- 3) シアトル大学の全ての学生に対して共通の知的経験を与える。

## 2. コア・カリキュラムの特徴

コア・カリキュラムの特徴として次の5つがある。

- 1) 全ての学生に対して、統合された1年目の学習機会を与える。
- 2) 学生の学習に対して、順序と連続性を与える。
- 3) 一般教養、科学、哲学、神学の範囲における方法や内容の経験を与える。
- 4) 全ての授業において、積極的学習活動、書くことと思考することの練習、価値観の認識を求める。
- 5) グローバルな視点、異文化間や男女間の差に対する認識、社会的感覚と個人の責任などを促す。

## 3. コア・カリキュラムの3つの相 (phase)

コア・カリキュラムは、次の3つの相における順序立てられた経験を提供する。

### 1) 第1相 (Phase One) : 賢明さの基盤

この段階では、学生に対して、経験から理解へ、そして批判的判断と責任ある選択へと移行していくための基礎を与える。つまり教養学習のいくつかの基盤を発達させる。大きく次の2つに分けられる。

### (1) 基礎的な習慣

的確な質問をすること、批判的かつ創造的思考をすること、書いたり話したりすること、数学を使いこなすことが容易にできること。

### (2) 文化の基盤

西洋や他の文明の、特に歴史、文学、科学、美術についての学習を通じて基本的な「知る」という方法になじむこと。

### 2) 第2相 (Phase Two) : 社会における人間

大きな現代の問題に出会うことにより学生が視野を広げる手助けをする。学生は、人文科学、哲学、宗教学の分野で用いられている方法を通じて解釈したり判断することを学習する。

Phase One に基づいて、学生は、経済学、政治学、心理学、社会学の分野で起こる問題について探究する。さらに、これと並んで今日の社会における人間の経験の共通点と相違点の根底にある哲学的・神学的仮定を発見する。

### 3) 第3相 (Phase Three) : 責任と奉仕

真の人間とキリスト教的価値観に照らし合わせて、学生が、より直接的に、奉仕という人生の準備をする手助けをする。

この相では、まず倫理学コースを、次に神学コース、そして学際的コースへと進む。最後に、4年次の統合科目 (senior synthesis)、つまり、教養学習と専門研究を結びつける科目によって大学教育を完結する。

この段階で特徴的なことは、責任ある奉仕において必要不可欠な評価的活動に重点を置いているということである。

## IV. 看護学部のカリキュラム

### 1. 看護学士 (Bachelor of Science in Nursing) コース

はじめて看護の教育を受ける学生が看護学士を取得するためには、最低180単位を修得する必要がある。

- 1) コア・カリキュラムの必修科目 (66単位)
- 新入生のための英語(5単位, EN 110)
- 哲学およびクリティカル・シンキング(批判的思考)入門(5単位, PL 110)
- 西洋文明入門(5単位, HS 120)か現代文明の研究(5単位, HS 121)のいずれかを選択
- 文学の傑作(5単位, EN 120)
- 数学(5単位, MT101, 107 他)
- 実験科学(5単位)
- 人間哲学(5単位, PL 220)
- 心理学入門(5単位, PSY 120)
- 社会科学II(5単位)か芸術体験(5単位, FA 120)のいずれかを選択
- 神学および宗教学研究第2相(5単位, 200-209)
- 保健医療倫理(5単位, PL 352)
- 神学および宗教学研究第3相(5単位, 300-309)
- 4年次の統合科目(3単位, N 422)
- 学際的コア科目: 変化する家族(3単位, N 480)

2) 専門必修科目 (109単位)

(1) 基礎必修科目 (25単位)

- 有機および生化学入門(5単位, CH 102)
- 解剖および生理I(5単位, BL 200)
- 解剖および生理II(5単位, BL 210)
- 微生物(5単位, BL 220)
- 成長および発育期の心理学(5単位, PSY 322)

(2) 看護専門科目 (84単位)

- 専門職としての看護概論(5単位, N 200)
- 生涯にわたる健康増進(5単位, N 301)
- 健康状態評価(5単位, N 302)
- 基礎看護介入(3単位, N 303)
- 疾病をもつ成人の看護ケアI(3単位, N 318)
- 疾病をもつ成人の看護ケアI実習(4単位, N 319)
- 看護実習の基礎となる薬理学原理(2単位, N 320)
- 病態生理学I(3単位, N 321)
- 病態生理学II(3単位, N 322)
- 老年看護概念論(2単位, N 323)
- 疾病をもつ成人の看護ケアI(4単位, N 328)
- 疾病をもつ成人の看護ケアII実習(6単位, N 329)
- 疾病をもつ小児看護ケア(3単位, N 338)

- 疾病をもつ小児看護ケア実習(4単位, N 339)
- 精神障害者の精神保健看護(3単位, N 348)
- 精神障害者の精神保健看護実習(4単位, N 349)
- 看護実践研究(3単位, N 404)
- 出産家族の看護ケア(3単位, N 410)
- 出産家族の看護ケア実習(4単位, N 411)
- 地域保健看護(3単位, N 412)
- 地域保健看護実習(4単位, N 413)
- 専門職としての看護実習への移行(8単位, N 423)

2. 登録ナースのための看護学士 (Bachelor of Science in Nursing for Registered Nurse Students) コース

すでに登録ナースである学生が看護学士を取得するためには、学生はシアトル大学に入学して、あるいはシアトル大学に編入して最低180単位を修得する必要がある。

1) コア・カリキュラムの必修科目 (66単位)

- 新入生のための英語(5単位, EN 110)
- 哲学およびクリティカル・シンキング(批判的思考)入門(5単位, PL 110)
- 西洋文明入門(5単位, HS 120)か現代文明の研究(5単位, HS 121)のいずれかを選択
- 文学の傑作(5単位, EN 120)
- 数学(5単位, MT101, 107他)
- 一般化学入門(5単位, CH 101)
- 人間哲学(5単位, PL 220)
- 心理学入門(5単位, PSY 120)
- 社会科学II(5単位)か芸術体験(5単位, FA 120)のいずれかを選択
- 神学および宗教学研究第2相(5単位, 200-209)
- 保健医療倫理(5単位, PL 352)
- 神学および宗教学研究第3相(5単位, 300-309)
- 4年次の統合科目(3単位, N 422)
- 学際的コア科目: 変化する家族(3単位, N 480)

2) 専門必修科目 (109単位)

(1) 基礎必修科目 (25単位)

- 有機および生化学入門(5単位, CH 102)
- 解剖および生理I(5単位, BL 200)

解剖および生理Ⅱ（5単位，BL 210）

微生物（5単位，BL 220）

成長および発育期の心理学（5単位，PSY 322）

(2) 看護専門科目（84単位）

専門職としての看護における現代的視点（5単位，N 310）

病態生理学Ⅰ（3単位，N 321）

病態生理学Ⅱ（3単位，N 322）

臨床での意思決定（5単位，N 385）

看護実践研究（3単位，N 404）

地域保健看護（3単位，N 412）

地域保健看護実習（4単位，N 413）

専門職としての看護実習への移行（8単位，N 423）

（以下の科目については他の学校等での既修得単位で読みかえが可能）

健康状態評価（5単位，N 302）

基礎看護介入（3単位，N 303）

疾病をもつ成人の看護ケアⅠ（3単位，N 318）

疾病をもつ成人の看護ケアⅠ実習（4単位，N 319）

看護実習の基礎となる薬理学原理（2単位，N 320）

老年看護概念論（2単位，N 323）

疾病をもつ成人の看護ケアⅡ（4単位，N 328）

疾病をもつ成人の看護ケアⅡ実習（6単位，N 329）

疾病をもつ小児看護ケア（3単位，N 338）

疾病をもつ小児看護ケア実習（4単位，N 339）

精神障害者の精神保健看護（3単位，N 348）

精神障害者の精神保健看護実習（4単位，N 349）

看護実践研究（3単位，N 404）

出産家族の看護ケア（3単位，N 410）

出産家族の看護ケア実習（4単位，N 411）

## V. 看護系授業科目内容

### 専門職としての看護概論（5単位，N 200）

専門職としての看護に対して社会が持つ基本的考え方と価値観を明らかにする。看護過程，コミュニケーション（問診）技術，歴史的視点からの看護と看護理論の発達について。理論4単位と演習1単位。

### 生涯にわたる健康増進（5単位，N 301）

予防と健康増進の概念，及び教育と学習の原理について。生涯にわたる個人の健康状態に影響する諸因子，つまり健康的な行動を発展させたり修正したりする戦略（ストラテジー）を明らかにする。

### 健康状態の評価（5単位，N 302）

病歴聴取，身体診察法，記録技術について。健康な個人の評価には身体的，心理社会的，発達段階的，文化的，精神的な面が含まれる。理論2単位と演習・臨床実習3単位。

### 基礎看護介入（3単位，N 303）

基本的ニーズ，感染を予防するテクニック，及び投薬に関する技術について，シミュレーションを用いた演習とその演習行為の確認。

### 専門職としての看護における現代的視点（5単位，N 310）

登録ナースのための看護学士コースにのみ開講。社会的状況（コンテキスト）における専門職としての看護について。専門職業務の特徴，教育と学習の原理，コミュニケーション（問診）技術，健康増進について。フィールドワークの課題がある。

### 病気を持つ成人の看護ケアⅠ（3単位，N 318）

成人の患者のケアに対する看護過程を用いたアプローチについて。危険因子とよく見られる合併症のない健康状態の生理的な異常について。

### 病気を持つ成人の看護ケアⅡ—実習（4単位，N 319）

すでに，N 318で学習した概念，原理，看護過程の応用を促進するための臨床実習。様々な種類の臨床場面において患者を受け持つ経験をする。

### 看護実習の基本となる薬理学原理（2単位，N 320）

薬学的介入治療を評価，計画，効果判定する際の専門看護職の責任について。

**病態生理学 I（3 単位，N 321）**

人体へのストレスの作用からもたらされる構造と機能の変化に対する概念的アプローチ。細胞又は分子レベルの変化に焦点を当てる。学習範囲は、動的平衡機序，細胞傷害の一般的な機序，炎症，免疫反応，病気の遺伝子異常，細胞の異常が癌発生へとつながる機序，水，及び電解質の不均衡。専門外の学生へも開放。

**病態生理学 II（3 単位，N 322）**

病態生理学 I の理論を応用する。呼吸，神経，胃腸，内分泌，及び生殖器官を含む各身体系統の機能異常に焦点を当てる。専門外の学生にも開放。

**老年看護概論（2 単位，N 323）**

健康に起因し，健康に関連した老年者についての関心事，特に，態度，加齢による適応，環境への配慮，慢性疾患，及び看護ケアの倫理的・法的側面に焦点を当てる。

**病気を持つ成人の看護ケア II（4 単位，N 328）**

よく見られる複雑な健康状態の異常を持つ成人の患者に対する看護過程によるアプローチについて。全人的ケアの基礎として，価値観，看護，他の学説を応用する。

**病気を持つ成人の看護ケア II 実習（6 単位，N 329）**

すでに，N 328で学習した概念，原理，看護過程の応用を促進するための臨床実習。様々な急性期ケアの場面における患者を受け持つ経験をする。

**病気を持つ小児の看護ケア（3 単位，N 338）**

急性か慢性の，またはその両方の健康問題を持つ入院中の乳児，小児及び10代の子どものケアのための看護過程について。家族内での小児に焦点を当てる。

**病気を持つ小児の看護ケア II 実習（4 単位，N 339）**

すでに，N 338で学習した概念，原理，看護過程の応用を促進するための臨床実習。

**精神障害者の精神保健看護（3 単位，N 348）**

精神的苦痛や機能異常に対して生物的・心理的・社会的反応を示した成人の看護ケアに対する看護過程によるアプローチについて。全人的ケア，成長促進，精神的健康の基礎として，価値観，看護，他の学説を応用する。

**精神障害者の精神保健看護 II 実習（4 単位，N 349）**

すでに，N 348で学習した概念，原理，看護過程の応用を促進するための臨床実習。様々な臨床場面での個人やグループを受け持つ経験をする。

**婦人の健康問題：健全性の視点から（5 単位，N 372）**

選択科目。ライフスタイルとその健康行動への影響や健康増進と予防の実践について。特に栄養に重点を置く。

**臨床における意思決定（5 単位，N 385）**

登録ナースのための看護学士コースでのみ開講されるセミナー。臨床における意思決定の分析と各年齢のクライアントに関する個別専門事項の検証。様々な臨床場面での看護過程の応用。

**特別講義（1 単位から 5 単位，N 391-N 393）**

**自主研究（2 単位から 5 単位，N 396-N 398）**

**看護実践研究（3 単位，N 404）**

看護実習の統合部分としての研究プロセスや研究所見の評価と応用について。チームワークを助成するためにグループ研究に重点を置く。

**出産家族の看護ケア（3 単位，N 410）**

出産家族に対する看護過程の応用，様々な地域の場面での健康増進，出産家族に関係する現代的問題の分析について。

**出産家族の看護ケア II 実習（4 単位，N 411）**

N 410で学習した概念，原理，看護過程の応用を



促進するための臨床実習。様々な場面での個人, または家族を受け持つ経験をする。

#### 地域保健看護 (3単位, N412)

患者, 家族, グループ, 地域の人々に対する看護介入のシステムの枠組みについて。地域社会において様々な文化グループに属する患者の, 複雑で慢性的な健康問題に焦点を当てながら看護過程を応用することについて。

#### 地域保健看護 — 実習 (4単位, N 413)

N 412 で学習した概念, 原理, 看護過程の応用を促進するための臨床実習。地域社会において患者, 家族, 及びグループを受け持つ経験をする。

#### 危篤状態にあるクライアントの看護ケア (3単位, N414)

選択科目。危篤状態のクライアントのケアに対する看護過程を用いたアプローチについて。危篤状態のクライアントのケアを理解する基礎としての個別的疾患状況の分析。

#### 薬剤と看護の関係: 症例研究によるアプローチ (2単位, N420)

選択科目。主要な薬剤分類と看護の関心に焦点を当てる。症例研究を通して, すでに理論や臨床科目で学習した情報を統合する。

#### 看護における4年次の統合科目 (3単位, N422)

看護と教養科目の統合。リーダーシップ, 管理, 及び組織的理論を専門職としての看護実践へ組み入れる。看護や健康ケアの提供に影響を与える倫理的, 経済的, 法的, 政治的及び技術的な力を厳密に検証する。

#### 専門職としての看護への移行 (8単位, N423)

臨床的, 及び管理的技術を統合する。複雑な健康ニーズを持つクライアント, 及びその家族に対する看護管理。学生は興味と利用できる状況に応じて場面を選択する。

#### 学際的コア科目: 変化する家族 (3単位, N480)

家族について学ぶ第一次的なモデルとして, また社会的関係を分析するための象徴的モデルとして親族関係を用いる。変化や葛藤に対する家族の反応を明らかにする。現代の家族の健康と福祉を多文化的な視点から検証する。専門外の学生にも開放する。

#### 学際的コア科目: ストレス, 生存及び順応 (3単位, N481)

選択科目。多因子的, 臓器系統指向的モデルからのストレス反応を, 現在の研究や文献から評価する。複雑な認知的, 行動的, 情動的, 社会文化的, 環境的変数を検証する。自己管理による看護介入を実習する。専門外の学生にも開放する。

#### 特別講義 (1単位から5単位, N491-N493)

#### 自主研究 (2単位から5単位, N496-N498)

#### [注]

本稿は, Seattle University (Washington 州 Seattle) の School of Nursing における看護教育プログラムの調査結果を翻訳して報告するものである。主に参照したのは, 1995-1996 *Undergraduate Bulletin of Information*, 及び *Student Handbook 96/97*で, 分かりにくい点については, 同学部名誉教授 (professor emeritus) Rosario T. DeGracia 先生に田中が直接お会いして教示して頂いた。尚, 同学部のカリキュラムは1998年秋の改正に向けて準備中である。また, 大学院の教育課程については稿を改めて報告する予定である。

## Appendix 1 : 開講科目英文タイトル

### Core Curriculum Requirements :

EN 110	Freshman English	N 322	Pathophysiology II
PL 110	Introduction to Philosophy and Critical Thinking	N 323	Concepts in Gerontological Nursing
HS 120	Introduction to Western Civilization	N 328	Nursing Care of Ill Adults II
HS 121	Studies of Modern Civilization	N 329	Nursing Care of Ill Adults II-Practice
EN 120	Masterpieces of Literature	N 338	Nursing Care of Ill Children
MT	101 or 107 or above	N 339	Nursing Care of Ill Children-Practice
CH 101	Lab Science/Introductory General Chemistry	N 348	Psychiatric Mental Health Nursing
PL 220	Philosophy of the Human Person	N 349	Psychiatric Mental Health Nursing-Practice
PSY 120	Introductory Psychology	N 404	Research in Nursing Practice
FA 120	Experiencing the Arts	N 410	Nursing Care of the Childbearing Family
200-209	Theology and Religious Studies Phase II	N 411	Nursing Care of the Childbearing Family-Practice
PL 352	Health Care Ethics	N 412	Community Health Nursing
300-309	Theology and Religious Studies Phase III	N 413	Community Health Nursing-Practice
N 422	Senior Synthesis	N 423	Transition to Professional Nursing Practice
N 480	Interdisciplinary Core : The Changing Family		

### Major Requirements :

#### [Prerequisites]

CH 102	Introductory Organic and Biochemistry
BL 200	Anatomy and Physiology I
BL 210	Anatomy and Physiology II
BL 220	Microbiology
PSY 322	Psychology of Growth and Development

#### [Nursing sequence]

N 200	Concepts in Professional Nursing
N 301	Health Promotion Across the Lifespan
N 302	Health Assessment
N 303	Basic Nursing Interventions
N 318	Nursing Care of Ill Adults I
N 319	Nursing Care of Ill Adults I -Practice
N 320	Pharmacological Principles Basic to Nursing Practice
N 321	Pathophysiology I

#### [その他]

N 310	Current Perspectives in Professional Nursing
N 372	Issues in Women's Health : A Wellness Perspective
N 385	Clinical Decision Making
N 391—N 393	Special Topics
N 396—N 398	Independent Study
N 414	Nursing Care of Critically Ill Clients
N 420	Drugs and Nursing Implications : A Case Study Approach
N 422	Senior Synthesis in Nursing
N 480	Interdisciplinary Core Course : The Changing Family
N 481	Interdisciplinary Core Course : Stress, Survival, and Adaptation
N 491—N 493	Special Topics
N 496—N 498	Independent Study

## Appendix 2：時間割の例

FALL QUARTER		WINTER QUARTER		SPRING QUARTER	
FRESHMAN YEAR #1	CREDITS	#2	CREDITS	#3	CREDITS
*CHEM 101 INTRODUCTORY GENERAL CHEMISTRY w/Lab	5	ENGL 120 MASTERPIECES OF LITERATURE	5	*CHEM 102 INTRODUCTORY ORGANIC & BIOCHEMISTRY w/Lab	5
ENGL 110 FRESHMAN ENGLISH	5	HIST 120 INTRODUCTION TO WESTERN CIVILIZATION OR	5	*PSYC 120 INTRODUCTORY PSYCHOLOGY	5
*MATH 107 MATH (101, 107 or above)	5	HIST 121 MODERN CIVILIZATION		PHIL 220 PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	5
	15	PHIL 110 INTRODUCTION TO PHILOSOPHY & CRITICAL THINKING	5		15
SOPHOMORE YEAR #4		#5		#6	NURSING SEQUENCE BEGINS
*BIOL 200 ANATOMY & PHYSIOLOGY I w/Lab	5	*BIOL 210 ANATOMY & PHYSIOLOGY II w/Lab	5	NURS 200 CONCEPTS IN PROFESSIONAL NURSING	5
TRST 200+ THEOLOGY & RELIGIOUS STUDIES (University Core: Phase II)	5	*BIOL 220 MICROBIOLOGY w/Lab	5	NURS 301 HEALTH PROMOTION ACROSS THE LIFESPAN	5
*PSYC 322 PSYCHOLOGY OF GROWTH & DEVELOPMENT	5	----- SOCIAL SCIENCE II (except for Psychology), OR FINE ARTS (University Core)	5	NURS 302 HEALTH ASSESSMENT	5
	15		15		15
JUNIOR YEAR #7		#8		#9	
NURS 303 BASIC NURSING INTERVENTION	3	NURS 322 PATHOPHYSIOLOGY II	3	NURS 338 NURSING CARE OF ILL CHILDREN (Theory)	3
NURS 318 NURSING CARE OF ILL ADULTS I (Theory)	3	NURS 323 CONCEPTS IN GERONTOLOGICAL NURSING	2	NURS 339 NURSING CARE OF ILL CHILDREN (Practice)	4
NURS 319 NURSING CARE OF ILL ADULTS (Practice)	4	NURS 328 NURSING CARE OF ILL ADULTS (Theory)	4	NURS 404 RESEARCH IN NURSING PRACTICE	3
NURS 320 PHARMACOLOGICAL PRINCIPLES BASIC TO NURSING PRACTICE	2	NURS 329 NURSING CARE OF ILL ADULTS (Practice)	6	PHIL 352 HEALTH CARE ETHICS	5
NURS 321 PATHOPHYSIOLOGY I	3		15		15
	15				
SENIOR YEAR #10		#11		#12	
NURS 480 THE CHANGING FAMILY (Interdisciplinary Core)	3	NURS 410 NSG CARE OF THE CHILDBRG FAMILY (Theory)	3	N 490 SENIOR SYNTHESIS (Synthesis Core)	3
NURS 348 PSYCHIATRIC MENTAL HLTH NSG (Theory)	3	NURS 411 NSG CARE OF THE CHILDBRG FAMILY (Practice)	4	N 423 TRANSITION TO PROFESSIONAL NSG (Practice)	8
NURS 349 PSYCHIATRIC MENTAL HLTH NSG (Practice)	4	NURS 412 COMMUNITY HEALTH NURSING (Theory)	3	----- ELECTIVE	3-5
TRST 300+ THEOLOGY AND RELIGIOUS STUDIES (University Core: Phase III)	5	NURS 413 COMMUNITY HEALTH NURSING (Practice)	4		
	15	----- ELECTIVE	2-5		
			16-19		14-16